高速道路の災害復旧支援
防災エキスパート 会報
高速道路サポーター

令和８年度第2号
令和８年10月30日発行

防災エキスパート事務局本部
公益財団法人高速道路調査会
事業部 共創事業課

令和８年度第２号会報発行にあたり

全国の防災エキスパート（高速道路サポーター）会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、防災エキスパート運営連絡会委員 西日本高速道路エンジニアリング九州(株)本山和幸様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。（事務局本部）

「グループ総力による災害対応」

防災エキスパート運営連絡会委員
西日本高速道路エンジニアリング九州㈱
取締役　土木事業本部長
本山　和幸



防災エキスパート会員並びに関係者の皆様方には、日頃より高速道路事業及び防災エキスパート活動へのご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

九州支部では、例年６月に防災講演会を開催しており、令和８年度には熊本地震から10年を迎え、NEXCO関係者を含む総勢264名の参加により当時、苦労された方からの講演や最前線で昼夜問わず復旧にあたった11名による座談会を開催し、災害対応力の伝承を図りました。

座談会の様子



その1ヶ月後の7月28日16時27分熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、九州自動車道、南九州自動車道において橋梁・のり面を中心に被害が確認されました。10年前の地震は布田川・日奈久断層帯が震源であり、有識者の意見としても「割れ残りがある」と言われておりましたが、今回まさにそこが震源地となりました。

ここでは、防災エキスパート活動そのものではありませんが、NEXCO九州支社グループとしての災害対応について報告させていただきます。

川田橋



片野川橋



妙見第一橋



メンテナンス九州では、管内全拠点7保全センター・4事業所の総力をあげて、緊急車両通行に向け路面や伸縮装置の補修、各種規制機材の手配・設置等、延べ3000人を超える人員が昼夜問わず作業を行いました。

パトロール九州では、発災直後の状況把握の他、お客様(滞留車)の誘導、緊急車両を通行させる場合の間欠交通の支援等、他のパトロール会社の支援も受けながら実施しました。

富士技建では、災害協力会社とともに甚大な被害を受けた橋梁について、サンドル設置、段差防止用のコンクリートブロック設置、クラック注入等、延べ300人を投入して応急復旧工事を実施しました。

ビジネスサポートでは、滞留車両対応の支援や管内各基地からも応援を受け、路下特別巡回や執務室の衛生維持、トイレカー清掃等、後方支援を実施しました。

ファシリティーズでは、寸断された光・メタルケーブルの復旧、休憩施設復旧等、管内各地からの支援も含め、延べ700名で対応しました。

橋台クラック注入



エンジニアリング九州では、発災翌日より橋梁点検を開始し、支承部、桁端部に着目し、点検しましたが、対傾構等の変形・座屈も発見されました。なお、発見された損傷については、全社員に支給されているiPhoneによりMicrosoftTeamsを活用したリアルタイム情報共有を実施しました。また、現地ではドローンやポールカメラ等の点検支援技術を最大限に活用して効率的にかつ迅速に点検を行いました。これらは10年前にはできなかったことで、災害対応力も大きく進化していることが確認できました。

今回の地震では、NEXCO拠点である高速道路事務所も被災するというこれまで経験の無い状況下で各社社員の自宅も建物被害を受けるなど厳しい環境下にありながら、発災直後から昼夜を問わず、NEXCO西日本グループとしての高い使命感により、発災17日後に九州自動車道、20日後に一部を除いた南九州道が通行止め解除となりました。なお、南九州自動車道八代JCT～日奈久IC間の妙見第一橋には、約1.3mの段差があり、検討委員会も踏まえ、工事を実施することから、復旧にはしばらく時間を要することとなります。

防災エキスパート活動としては、その役割の議論が始まったところですが、今回のような大規模地震でさえも業界団体やNEXCOグループが総力をあげて対応しており、防災エキスパート単体での活動要請には至りませんでした。活躍が期待される場面については、引き続き検討を進める必要がありますが、今後も防災講演会等、平時の活動の積み重ねを通じて、防災エキスパート制度との連携を深めながら、技術研鑽、人材育成および経験の伝承に取り組み、高速道路の安全・安心の確保と地域社会の防災力向上に貢献してまいりますので、引き続き会員並びに関係者の皆様にはご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

報告

支部活動状況

令和8年5月～8月に活動があった支部の活動状況について情報共有します。

東北支部

活動名	防災に関する技術講演会
実施日	令和８年８月２５日（火）
場所	TKPガーデンシティ仙台（AER 21F ホール21B）

【内容】
㈱ネクスコ・エンジニアリング東北が主催する防災に関する技術講演会に、東北支部会員１４名が参加した。
・講演テーマ「昨今の災害対応に想う ～安全重視とやりがいの伝承～」
：㈱高速道路総合技術研究所 代表取締役社長 小笹 浩司 氏





新潟支部

活動名	支部会議
実施日	令和８年６月９日（火）
場所	アートホテル新潟駅前 ４階 越後の間

【内容】
１．防災エキスパート活動状況等
　全国の活動状況、新潟支部の活動状況及びNEXCO新潟支社における防災取組みについて報告共有を行った。
・NEXCO東日本新潟支社の防災取組みについて：新潟支社 金子事業統括課長
・防災エキスパート新潟支部の活動について：新潟支部 上原企画統括部長
２．防災に関する講演会
・『豪雨災害（水害）の素因と発生機構について』
　：国立大学法人新潟大学 自然科学系 特任教授 大塚 悟 氏
（会員出席者２９名）

資料あり





資料あり

：防災エキスパート会員専用ページに資料を掲載しています。

関西支部

活動名	関西支部総会・関西地区防災講演会
実施日	令和８年５月２５日（月）
場所	茨木市 市民総合センター（クリエイトセンター）

【内容】
NEXCO西日本関西支社と防災エキスパート関西支部の共催により、NEXCO西日本本社・関西支社・事務所、関西支社管内グループ会社の社員及び会員を対象とした防災講演会を開催した（参加者総数287名、うち会員65名）。また、講演会に先立ち関西支部総会を開催した。
・講演「防災エキスパート活動の紹介」：（公財）高速道路調査会 事業部長 市川 暢之 氏
・講演「平成３０年７月豪雨による高知自動車道の被災と復旧について」
：西日本高速道路ファシリティーズ㈱ 常務取締役 荒木 龍浩 氏
・講演「道路防災に関する最近の話題」：国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路情報管理官 荒谷 芳博 氏

資料あり

活動名	出前講座（関西支社技術講演会）
実施日	令和８年６月９日（火）
場所	NEXCO西日本 関西支社

【内容】
関西支社主催の技術講演会に防災エキスパートとして協賛し、会員１２名が参加した。
・演題：「橋梁技術の変遷」：坂手氏、小川氏（関西支部会員）、福永氏

中国支部

活動名	第４３回 業務研究論文発表会（エンジ中国）の聴講
実施日	令和８年７月２４日（金）
場所	ホテル広島ガーデンパレス

【内容】
西日本高速道路エンジニアリング中国㈱が開催した「令和８年度 第４３回業務研究論文発表会」を会員２名が聴講した。

四国支部

活動名	異常降雨時の防災体制ほか勉強会（講師）
実施日	令和８年６月５日（金）
場所	NEXCO西日本 愛媛高速道路事務所 会議室

【内容】
台風・梅雨シーズンに向け、異常降雨時の防災体制とその運用等のポイントを説明し、グループ社員の認識の醸成を図る目的で勉強会を開催した（愛媛高速９名、エンジ四国１５名、会員１名参加者合計２５名）。
①異常降雨時の防災体制等：
　愛媛高速道路事務所 山口統括課長
　気象情報レベルの見直し、通行止め開始・解除判断と必要な点検ほか
②台風豆知識：石村 典久氏（講師）
　台風とは、台風の災害、法体系、通行規制基準の変遷、雨量指数ほか






資料あり：防災エキスパート会員専用ページに資料を掲載しています。

四国支部

活動名	NEXCO四国支社との調整会議
実施日	令和８年８月３日（月）
場所	NEXCO西日本 四国支社 防災対策室

【内容】
NEXCO担当者が異動したため、防災エキスパートの活動概要を説明し、今年度の活動計画について意見交換を行うとともに、技術者支援について確認した（参加者：四国支社４名、会員６名、計１０名）。
〔四国支部からの主な依頼事項〕
・支部大会（１０月３０日）で実施する講演会への若手技術者の参加
・支部大会準備のスタッフ支援

九州支部

活動名	令和８年度 九州地区防災講演会
実施日	令和８年６月１日（月）
場所	JR博多シティ アミュプラザ９階 JR九州ホール

【内容】
防災エキスパート九州支部の活動及び、NEXCO 九州支社並びに九州地区の各G会社を対象に防災の重要性と諸先輩方が築いた技術を、若手社員に伝承する目的で開催した。

・講演「熊本地震による被害とその教訓」：福永 靖雄 様（NEXCO西日本コンサルタンツ㈱）
・座談会「巨大地震発生時の初動対応～熊本地震経験者と語る～」

参加人員 431 名
講演者 16 名、来賓他9 名、防災エキスパート会員 48 名　NEXCO 関係者 94 名 グループ会社関係者 264 名

今回の防災講演会は、熊本地震発生から10 年を迎えた今年、当時、本社防災本部及び熊本高速道路事務所で災害対応された方々の「災害時の初動対応、現場点検の着眼点、情報伝達の重要性」の講義と「初動時の判断・行動・現場の苦労や意思決定」を座談会形式で行い、概ね好評な結果となった。





情報共有

防災エキスパート会員数と令和８年度活動実績

各事務局支部の会員数と令和８年度活動実績について情報共有します。各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災エキスパート会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますので、参考にして下さい。

高速道路サポーター会員数

令和8年10月1日時点

支部名／会員数	北海道	東北	関東	新潟	東京	名古屋・金沢	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	10	42	46	13	53	37	62	11	27	47	348
グループ会員	34	19	12	33	25	8	37	21	48	53	290
計	44	61	58	46	78	45	99	32	75	100	638

令和８年度 防災エキスパート活動状況

令和８年８月末時点

項目	令和８年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道						訓	講・支					点	
東北	点				講	訓	講		支・講				
関東	点				調⇒中止	訓・調	支・講・他	調	調				調：地域災害対策連絡会 他：現場見学会
新潟		点	支・講		訓⇒中止								
東京・八王子	点					訓			支・講				
名古屋・金沢		講➡研		講➡9月へ延期		訓・講	支・講	講		講			
関西	調・他	調,支,講	調・他	調	調・他	訓・調	調・他	調・出	調・他	調	調・他	調	調：アーカイブ定例会 他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国				研		訓						支	
四国	講		講	訓➡延期	調		支,講,訓,他					調	勉強会を適宜実施予定
九州	点・調	調	講	出➡中止	調⇒中止	訓						支・点	

凡例			
	【支】支部会議、 【出】出前講座、技術講習会 【点】基本点検(会議等含む) 【研】講演会等の参加、 【災】災害支援、 【ボ】被災地ボランティア活動	【講】講演会(支部主催･共催)、 【訓】防災訓練 【調】連絡調整会議等 【他】その他	実施済み 赤字：会員専用サイトに資料を掲載しておりま

情報共有

NEXCOアンケート結果

令和８年度の支部会議でご説明した活動方針と、防災エキスパート制度に関するNEXCOアンケートの結果について情報共有します。

１．防災エキスパート制度に関するNEXCOアンケートの実施　（令和８年２月１２日 運営連絡会にて決定）

＜背景＞
・制度発足（平成12年）から25年が経過し、道路公団民営化、グループ会社化、定年年齢の引き上げなど環境が変化
・グループ会社化により大半のOBはグループ会社に転籍し、防災エキスパート（一般会員）に頼らない災害対応事例が増加
・令和６年度会員アンケートでは、会員の高齢化により現地に行きにくいなどの意見

＜目的＞NEXCO現役現場社員の認識を再確認し、制度のあり方の検討に関する基礎資料とする

＜概要＞対象：支社 各部担当課長（11支社26部）、事務所 所長（126事務所）計152者
期間：令和８年４月８日～５月２０日

２．NEXCOアンケート結果　（152部署に配布し148件回収、回収率97.4%）

◆ 制度の認知は浸透しているが、実際の要請・活用は限定的

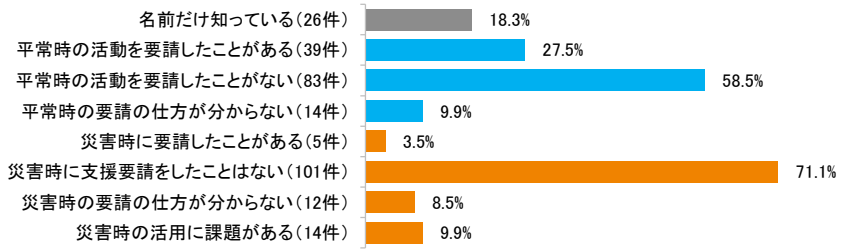
95.9%
制度を知っている
142／148件

58.5%
平常時の活動を
要請したことがない
83／142件

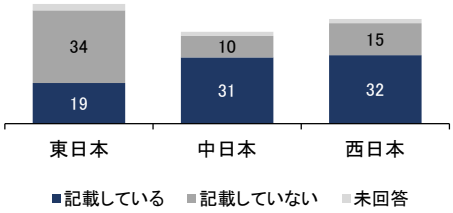
71.1%
災害時に支援要請を
したことがない
101／142件

55.4%
BCPに記載している
82／148件

設問2 認識・関わり（複数回答、N=142）



設問3 BCP記載状況（会社別）

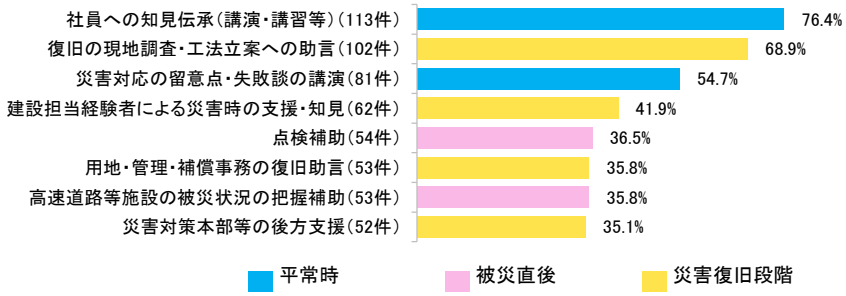


記載率：東日本34%／中日本72%／西日本65%

◆ 現場が求めるのは「人手」より「経験に基づく知見の伝承・助言」

支援ニーズは講演・技術アドバイスに集中し、規制現場補助・広報計画補助などの実作業は1%前後にとどまる

設問4 支援して欲しい活動・業務（上位8項目、N=148）



設問5 防災に限らず期待する取組み

55.4% 82件
経験豊富な方からの助言

41.9% 62件
過去の事故対応概要・注意点

38.5% 57件
建設時の苦労話・現場注意箇所

33.1% 49件
2期線着手前に1期線経験者の話

“生きた知見”の継承を望む声が多い

３．今後の方向性　（自由記述70件超から見えた主な意見）

◆「技術・知見伝承」を主軸に据え、高速道路全般に活動範囲を広げる

① 技術伝承への重点シフト
発災直後の対応は現役が担い、OBには平常時の知見伝承・若手育成を

② 指揮命令系統・権限の曖昧さ
権限がなく指揮命令系統・責任の所在が不明瞭で、有事に現場が混乱しかねない

③ 会員の高齢化・体力面
現場での体力的な対応は難しい。技術・制度の変化への追随にも不安

④ 会員情報の不足
誰がどこにいて何が得意か分からない。平常時から顔の見える関係を

⑤ 対価・処遇
活動に見合った対価を支払う仕組みの方が依頼しやすい

⑥ 運用面の改善提案
プッシュ型支援、事務所単位の登録・依頼、Web会議での助言・講演

今後の方向性

1 **有事ではなく、平時の活動を中心とする**
講演・助言・技術継承を制度の中心に

2 **知見や技術の伝承に重点をおく**
現役社員のニーズに合う知見を伝承

3 **高速道路全般に幅を広げる**
専門分野に限らず高速道路全般の活動へ

アンケート結果を基に、今後の制度のあり方について検討中

情報共有

被災地ボランティア活動の支援制度

従前より、平常時の活動として防災エキスパート会員の被災地ボランティア活動へ支援を行っていますが、加えて令和３年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援も運用しています。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

〇将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。

〇旅費交通費・宿泊費等を支援します。

【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員
（防災エキスパート会員の方は支部活動として別途支援しております。）

【どういう場所】 安全が確保されている活動の場であること
例） 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること

【活動区分】 独自で行うもの
支部等が企画したボランティア活動に参加するもの

【手続き方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ウェブサイトをご覧下さい。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

報告

災害ボランティア活動

被災地ボランティア活動の支援制度を活用した活動報告

中日本ハイウェイ･エンジニアリング東京㈱の方が参加された災害ボランティア活動をご紹介いたします。

活動名	令和８年熊本地震　被災家屋の復旧支援
活動場所	熊本県八代郡氷川町（氷川町災害ボランティアセンター）
活動日	令和８年９月１０日（木）
参加者	○１名（中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社）

【報告】令和８年熊本地震　氷川町での被災地ボランティア活動

- **班体制での役割分担：**参加者約70名が1班約10名で行動。リーダー・副リーダーのもと、小物の片付け、大物家具の搬出、軽トラでの運搬と担当を細かく決め、判断に迷う点はリーダーに確認しながら順調に作業を進めました。
- **今は“モノ”より“ヒト”：**支援物資はある程度行きわたる一方、家具や災害ごみの搬出など生活復旧に向けた人手のニーズはまだ多く、積極的な参加を望む声が聞かれました。
- **防災備蓄品の管理：**町役場の方から、10年前の熊本地震を教訓に備蓄品を増やし管理を厳格化したと伺い、備品の確保や期限管理の徹底が早期復旧につながると感じました。
- **制度について：**交通費・宿泊費（上限有）の支援は、ボランティア参加へのハードルを下げるきっかけになるとの感想をいただきました。



氷川町ボランティアセンター
（ボランティア活動者への支援物資）

情報共有　防災エキスパート会員情報更新がWEBでできます。

会員専用サイトからご自身の登録情報を確認、更新が可能です。(R7.4.1～)
その際会員番号IDが必要になります。ご不明な方は登録支部窓口までお問い合わせください。



求む!　防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみなさま、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたくお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲示し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区虎ノ門2-3-17　虎ノ門2丁目タワー10階

高速道路調査会
防災エキスパート事務局本部

E-mail:　bousaiex@express-highway.or.jp

編集後記

このたびの熊本地震、千葉県での豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、災害対応・復旧に尽力されている関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

高速道路調査会事業の1つであるハイウェイテクノフェア2026が、今年は11月26日(木)、27日(金)に東京ビッグサイト(西1・2ホール)で開催されます。高速道路に関する新技術・新工法、資機材および現場の支援システム、環境技術等を紹介する展示会で、防災に関する展示もございます。入場には事前の来場者登録が必要です。皆様ぜひお越しください。

会報を作成するにあたり、今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。(事務局本部)



・災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
・基本点検、防災訓練、意見交換会等の交流活動から！！